

第 6 7 回 鹿 児 島 県 高 等 学 校 柔 道 競 技 大 会
第 3 1 回 鹿 児 島 県 高 等 学 校 女 子 柔 道 競 技 大 会
(全国・九州大会予選) 要項

- 1 主 催 鹿児島県高等学校体育連盟 鹿児島県教育委員会
- 2 後 援 公益財団法人鹿児島県体育協会 鹿児島市教育委員会 公益財団法人鹿児島県柔道会
- 3 主 管 鹿児島県高等学校体育連盟柔道専門部
- 4 期 日 平成 29 年 5 月 31 日 (水)・6 月 1 日 (木)
- 開 館 午前 8 時 30 分
- 監督審判会議 午前 9 時 40 分
- 開 会 式 午前 10 時 競技開始 1 日目 10 時 20 分
2 日目 10 時
- 5 会 場 鹿児島アリーナ (メイン)
- 6 競 技 規 定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定(新ルール)及び全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による
(2) 判定基準
【個人試合】
規定通り行う。「技あり」以上とする。同等の場合は、時間無制限の延長戦を行う。
【団体試合】
ア 選手対選手それぞれの試合の勝敗は、「技あり」「僅差」以上とする。
イ 僅差は、「指導差が 2」とする。優劣は、一本勝=反則勝>技あり>僅差の順とする。
ウ チーム対チームの勝敗は、以下の項目に従って決定する。
① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
② ①で同等の場合は、「一本による勝ち (反則勝ち)」が多いチームを勝ちとする。
③ ②で同等の場合は、「技ありによる勝ち」が多いチームを勝ちとする。
④ ③で同等の場合は、代表戦 (任意) を行う。代表戦の判定基準は「技あり」または「僅差」以上とする。ただし勝敗が決しない場合は、延長戦 (ゴールデンスコア) は、時間無制限とする。延長戦の判定基準・実施方法は、個人試合に準ずる。
(3) 試合時間は、団体試合、個人試合とも 4 分間とする。ただし、延長戦 (ゴールデンスコア) は、時間無制限とする。
- 7 競 技 方 法 (1) 1 日目は団体試合、2 日目は個人試合を行う。
(2) 団体試合・個人試合ともトーナメント戦とする。ただし、団体試合の上位 4 チームはリーグ戦を行う。団体決勝リーグでは、引き分けがある。(団体試合で男子 5 名、女子 3 名そろっていないチーム同士の試合は大将につめて行う。)
(3) 個人試合は、男女 7 階級の体重別試合とする。
男子 (60kg 級・66kg 級・73kg 級・81kg 級・90kg 級・100kg 級・100kg 超級)
女子 (48kg 級・52kg 級・57kg 級・63kg 級・70kg 級・78kg 級・78kg 超級)
※計量は 1 日目 (31 日) 団体試合表彰式終了後行う。遅れたものは失格とする。
- 8 引 率 ・ 監 督 (1) 引率責任者は、校長の認める当該校の教員とする。
(2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険 (スポーツ安全保険等) に必ず加入することを条件とする。
但し、(2) について全国高等学校体育連盟各競技専門部における別途規定が定められている場合は、その規定に従うことを原則とする。
- 9 参 加 資 格 (1) 平成 29 年度県高体連加盟校在学学生であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
(2) 平成 29 年度鹿児島県柔道会を経て、全日本柔道連盟に登録を完了した者であること。
(3) 年齢は平成 10(1998)年 4 月 2 日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技 3 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。
(4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(「合同チーム参加届」を提出) すること。

- (6) 転校後6か月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住等やむを得ない場合は県高体連会長の認可があればこの限りでない。「大会出場許可申請書」を提出)すること。
- (7) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (8) 選手変更について
- ア 団体試合・個人試合に申し込み後に負傷または発病があった場合は、変更選手の校長認可証を監督会議までに提出する。
- イ 参加申し込み後の団体試合の選手変更は1名を限度とする。
※但し、伝染病その他天災等による場合はこれを適用しない。
- ウ 個人試合の出場選手を団体試合における負傷により変更する場合は、団体試合の選手に限り認められる。但し、計量時間までに本部に届けること。
- (9) その他の事項については、全国大会要項に準ずる。
- (10) 参加資格の特例による学校の参加については、鹿児島県高等学校総合体育大会開催基準要項のとおりとする。
- (11) 外国人留学生の参加については、団体試合は、男子・女子ともに1名以内とする。個人試合は参加人数の制限を設けない。
- 10 参加制限 (1) 団体試合は、1校男・女各1チームとする。男子は、監督1名・選手5名・補欠2名、女子は、監督1名・選手3名・補欠1名とする。なお男女とも補欠はいなくてもよい。
(2) 個人試合は、男女とも各階級3名以内とする。
- 11 参加申込 参加申込みに際しては、「鹿児島県高等学校総合体育大会・鹿児島県高等学校新人体育大会における個人情報保護及び肖像権に関わる取扱いについて」を承諾した上で申し込むものとする。
- (1) 申込方法
当該学校長の責任において所定の参加申込書により、2部作成(1部は写しでの可)し、5月12日(金)午後4時30分まで申し込むものとする。(封筒に競技名を朱記すること)
- (2) 申込場所
鹿児島市谷山中央8丁目4番1号(〒891-0141)
県立鹿児島南高等学校内県高体連事務局宛(TEL099-268-8391)
- (3) 参加申込書提出後に出場を辞退しなければならなくなった場合(学校単位)は、速やかに競技専門委員長及び県高体連事務局に連絡し、「大会出場辞退届」を県高体連事務局に提出する。
- 12 組合せ 5月16日(火)県高体連柔道専門部にて行う。
組み合わせ結果は、県高体連事務局ホームページに掲載する。
- 13 表彰 団体試合は、4位まで、個人試合は第3位までを表彰する。
- 14 その他 (1) 団体1位、個人の各階級1位は、全国総体(福島県郡山市)の出場権を得る。
(2) 団体1・2位、個人の各階級1・2位は、九州総体(大分県別府市)の出場権を得る。
(3) 審判員は全日本柔道連盟指定の審判服(半袖、ネクタイ、エンブレム)着用とする。監督は、審判員の服装に準ずる。
(4) 脳震盪の対応について
ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷したものは、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。
イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に参加することは不可とする。
(5) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。